

# 新篠津村

竹田 昂介

## 1. 概要と歴史

### 1.1 名前の由来

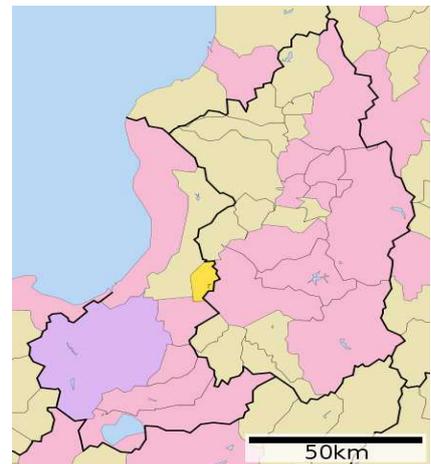
新篠津村は、明治 29 年、篠津村（現：江別市篠津）から分村したことから名付けられ、また篠津はアイヌ語で、「本流が同じ深さで、ゆるやかに流れる（シ・ヌッチ）」、「大きな原野が沼（のような）（シ・ノ・ト）」等の意味のようである。

### 1.2 地理

新篠津村は北緯 43.22 度、東経 141.65 度に位置しており、北海道の石狩振興局の北東部石狩郡に所属している。隣接する市町村として同管内の江別市、石狩郡当別町があり、空知総合振興局の岩見沢市、樺戸郡月形町がある。周りが市町村に囲まれているということが特徴として挙げられる。また新篠津村は石狩管内唯一の村であり、人口規模は石狩振興局管内でも最小である。新篠津村の面積は 78.24km<sup>2</sup>であり、村域のすべてが石狩平野内にある。

新篠津村には石狩川、篠津川、篠津運河が流れている。さらに、石狩川から分離した、しのつ湖もある。

図 1 新篠津村の位置

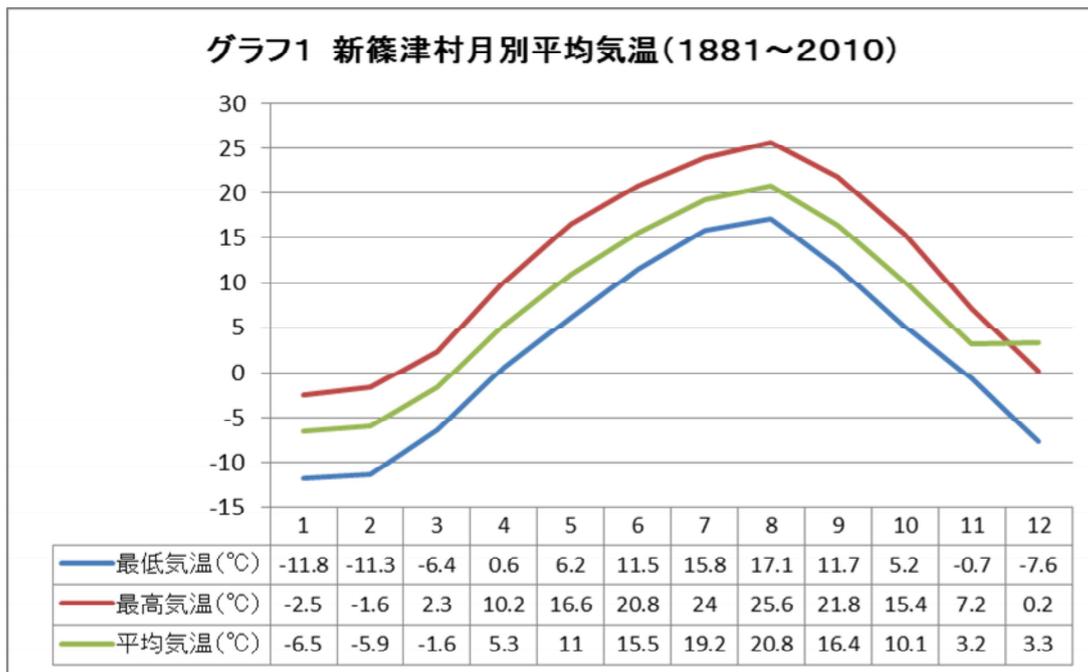


出所 基礎自治体位置図

### 1.3 気候

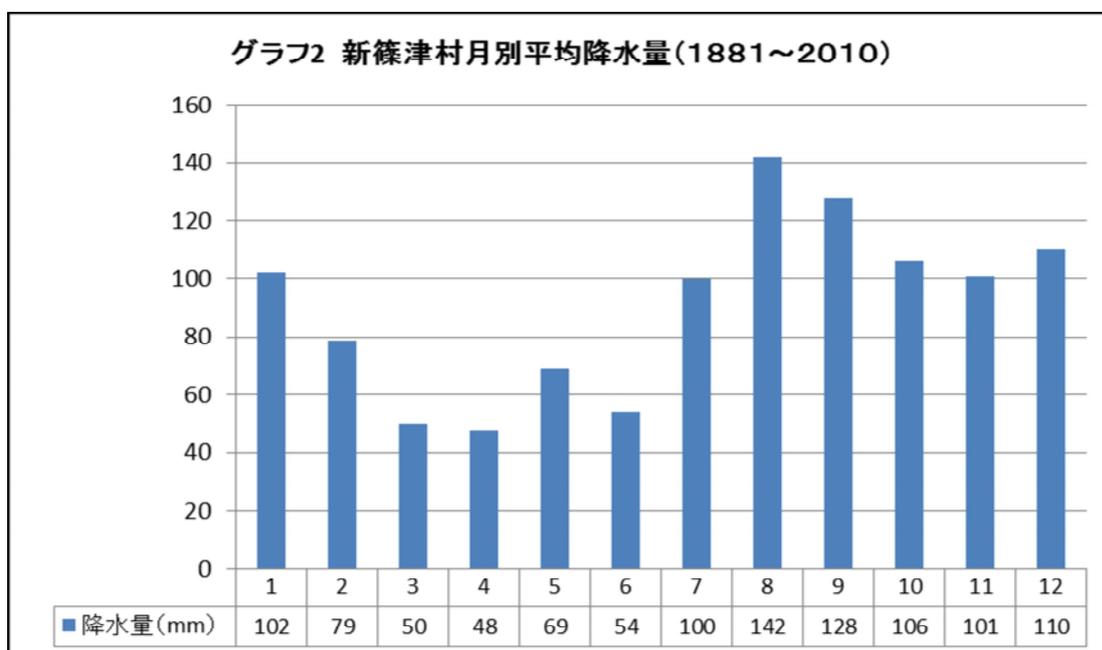
また新篠津村は下のグラフ 1 から読み取れるように、夏は気温がそれほど高く上昇しない。

しかし 12 月から 2 月にかけての気温はマイナス 10℃を下回ることがあり冬の冷え込みが厳しいといえるであろう。新篠津村は内地に位置していることがこのような気候となるひとつの要因といえよう。さらにグラフ 2 より新篠津村の 1881 年から 2010 年にかけての平均降水量は北海道特有である、梅雨がないことから 5 月、6 月の降水量が低くなっている。一方で降雪時期となる 11 月から 3 月にかけての降水量が多くなっている。その中でも特徴的なのは 8 月の降水量がもっとも多くなっているという点である。



出所 気象庁 HP を参考に筆者作成

改めて見てみると8月以降は降水量が多くなっている。しかし2月から6月にかけては降水量が多い時のおよそ半分となっている。また冬の2、3月は雪がそれほど降らないといえる。

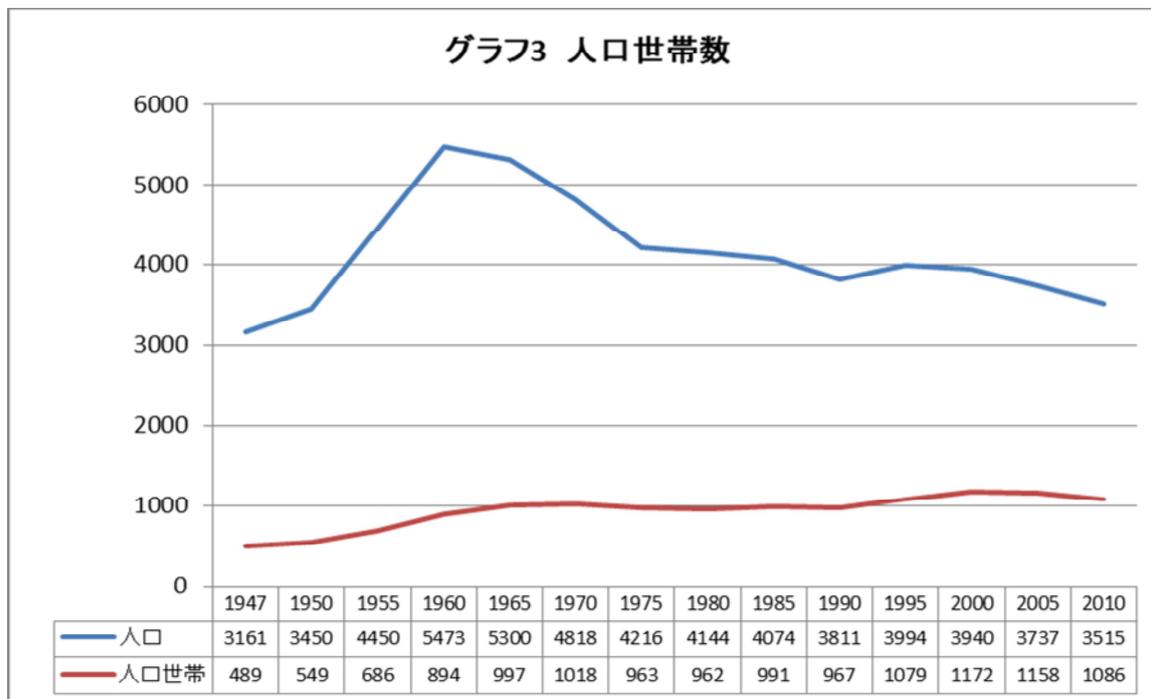


出所 気象庁 HP を参考に筆者作成

#### 1.4 人口世帯数

新篠津村の人口は1番多い時で1960年の5473人でそれ以降は減少傾向にある。新篠津

村は村であるので人口自体はそれほど多くはない。しかし人口が最大であった年と現在の世帯数を比較すると、現在のほうが多くなっている。このように現在は一人世帯や核家族世帯が多数を占めているといえる。



出所 平成 20 年度国勢調査結果をもとに筆者作成

### 1.5 カントリーサイン

北海道の市町村にはそれぞれのカントリーサインが存在する。新篠津村のカントリーサインはセールスポイントの米、花卉、青空祭りを押し出している。道内有数の米どころとして、クリーン農業と福祉の調和がとれた田園福祉の村であり、心豊かに誰もが安心して暮らせるヒューマンカントリーを目指しているということを主に強調している。

画像 2 カントリーサイン



出所 北の道ナビ HP

### 1.6 村章、村の木、村の花

新篠津村の村章は新篠津村の村章は昭和 9 年に制定された。村章の下 3 本線は石狩川、上は篠津川、緑色でかたちどり、豊かな土地から受けてきた農業の恩恵の深さを表徴したものである。

また村の木はナナカマドであり村の花はハナショウブである。

画像 2 ナナカマド



出所 新篠津村 HP

画像 3 ハナショウブ



出所 新篠津村 HP

ナナカマドは日本各地に分布しており、四季を通して緑葉、紅葉、紅葉を楽しむ事ができ、風雪に耐え抜く力強い木である。

アヤメ科に属するハナショウブは、初夏の訪れとともに村のしのつ公園に、濃紫の花が咲き誇るのである。

## 1.7 歴史

表 1 新篠津村の歴史

1901年	明治 34年	村税としてはじめて反別割を実施
1902年	明治 35年	新篠津村損費賦課徴収規則を制定
1906年	明治 39年	はじめて医院が開業
1909年	明治 42年	洪水による河道の変化により袋達布ができる
1910年	明治 43年	石狩川第 1 期治水工事着工
1914年	大正 3年	私設日新消防組設立村消防組織の始まり
1916年	大正 5年	新篠津信用販売購買組合設立
1920年	大正 9年	全国初の国勢調査の人口 2934 人 487 世帯
1929年	昭和 4年	江別～新篠津市街乗合自動車定期便が運行開始、新篠津村自動車組合発足
1931年	昭和 6年	石狩川治水第 1 期工事完成
1944年	昭和 19年	新篠津村農業会が発足
1947年	昭和 22年	初の村長公選で野村忠三郎が当選
1952年	昭和 27年	新篠津土地改良区設立
1955年	昭和 30年	国民健康保険事業を開始
1961年	昭和 36年	この頃村内各地にテレビが入り始める
1962年	昭和 37年	農協が組合員勘定制度導入
1963年	昭和 38年	しのつ観光株式会社を設立
1965年	昭和 40年	篠津運河工事完了
1968年	昭和 43年	全国優良町村として全国町村会から表彰される
1975年	昭和 50年	開村 80 周年記念式挙行
1980年	昭和 55年	村の木がナナカマド、村の花がハナショウブに決定
1994年	平成 6年	新篠津村情報システムが完成運用
1996年	平成 8年	中央自治区が新自治会割（8 自治会）となる
1999年	平成 11年	役場庁舎増改修工事着工
2001年	平成 13年	新しのつ麦酒（地ビール）発売開始
2009年	平成 21年	新篠津村まちづくり総合計画策定
2010年	平成 22年	しんしのつ温泉たっぷの湯 道の駅(しんしのつ)として登録

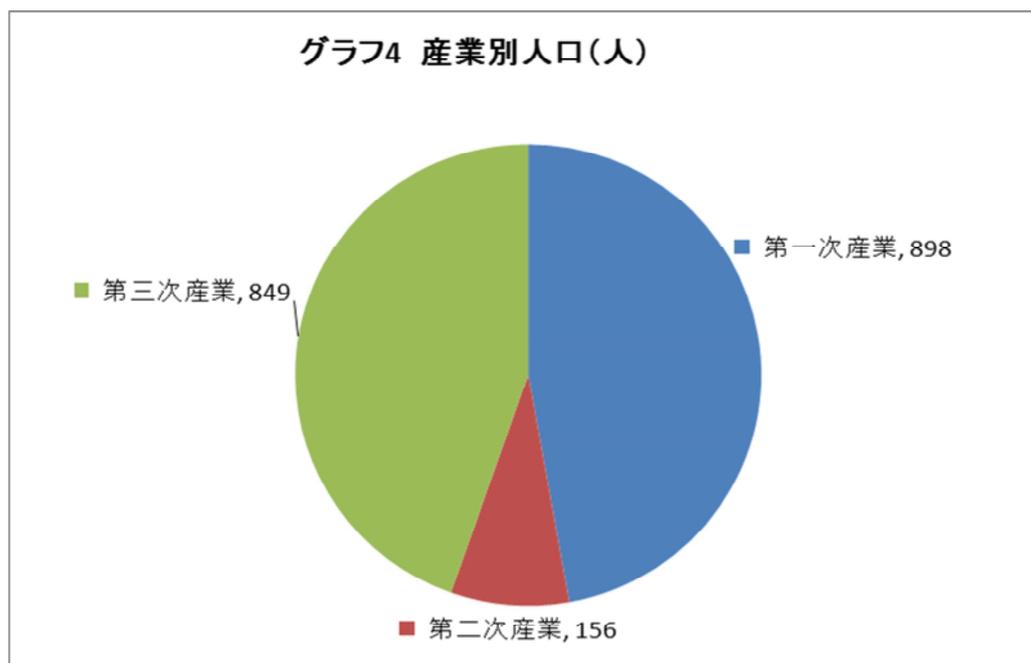
出所 新篠津村 HP をもとに筆者作成

以上の表のように新篠津村の始まりは 1900 年（明治 33 年）に市街地に 17 軒の街並みができたところからである。翌年の 1901 年（明治 34 年）には村税を導入していたことから、このときすでに村として存在していたことがわかる。そして戦後からおよそ 20 年たった 1968 年には全国優良町村として表彰されるなど、全国でも有名な村となった。1975 年には開村 80 年を迎えた。そして 21 世紀に入ったころから観光事業にも積極的に力を入れ、後に紹介する様々な観光スポット、特産品などが生み出された。

## 2. 産業

### 2.1 産業別人口

以降は新篠津村の産業別人口について説明していく。先にも述べたが新篠津村は非常に農業が盛んである。それは産業別人口にも顕著に表れている。というのも下のグラフ 5 を見てみると、農業や稲作が含まれる第一次産業がサービスを中心とする第三次産業を上回っていることからそのようなことがいえる。一方で新篠津村は第二次産業の人口が少なくなっている。これも新篠津村の特徴である。



出所 平成 20 年度国勢調査結果をもとに筆者作成

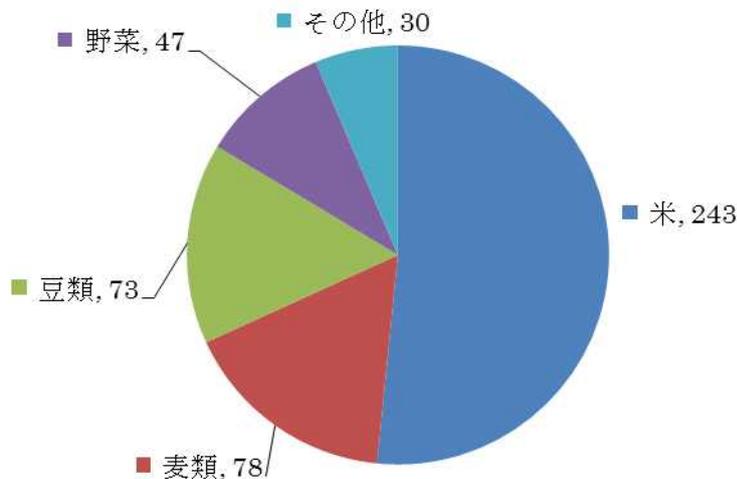
### 2.2 農業

新篠津村の農家は総数で 279 件、おおよそ 847 人の方々が農業を営んでいる。そんな方々が生産している新篠津村の農業は地理的な要因もあってコメの生産量が全生産量のうちおおよそ 50%を占めている。そんな中意外な生産物として葉物の野菜が挙げられる。特に有名なのは白菜で、全体の比率でいうと 10%強といったところである。それに続くのが花卉で

ある。また農業生産額はしかし新篠津村でも農業者の高齢化が問題となっている。だが近年、農家と食の未来に夢を見て新規就農を希望する若い世代が増えている。JA しんしのつでは独自の活動として農業研修生制度を積極的に運営、全国からの応募に対し真摯に対応している。例えば、サラリーマンなどが早期に会社を辞め、新規就農者として新篠津村に問い合わせている。それも関東圏や九州などからきている。このように新篠津村の農業にも新しい風が吹き始めている。

さらに有機農産物をはじめとする、美味しくて安全な農作物づくりに欠かせない土づくりを推進している。その大きな役割を担っているのが村のクリーン農業推進センターである。ここの仕事は土壌の分析・診断に基づいた土のカルテを作成し、それぞれの土の品質に応じたアドバイス、指導をすることである。新篠津村の様な小さな村のレベルでこの様な施設が作られ運営されている例は全国的にも珍しく、より品質の高い農作物づくりのため、農家と行政が一体となって取り組んでいるということも新篠津村の農業の特徴といえる。さらに以下のグラフ 4 は新篠津村の農業生産額である。農業生産学の合計は 471 である。見てわかるとおり米が全体の半分以上を占めている。先にも述べたが、新篠津村は石狩川の領域に位置しているため、米の生産が多いのも頷ける。その他に驚きなのは麦類とほとんど同じ数値であることである。豆類の方が野菜類よりも多くなっている

グラフ5 新篠津村農業生産額（百万）



出所 農林水産省 HP をもとに筆者作成

### 2.3 特産品

新篠津村は、石狩川の流域に位置し、農地は必然的に水位が高く、大根等の根もの野菜はたっぷりと水分を蓄えることができる。それに加えて、新篠津村の周囲には高い山や丘がひとつもないため、西側の手稲連山から強い風が吹き降りて来るので、強い風が虫を吹き飛ばし、レタスや白菜などの葉もの野菜は農薬の使用を最小限に押さえることができる。

このように、葉もの野菜づくりには絶好の条件の新篠津村ですが、農業に従事する若手の世代の後継者を代表とする人たちによって次の時代の農業を見つめた、より安全で美味しい農産物づくり、そして製品開発が始まっている。また名産品として葉物野菜だけではなくトマトや大根などもある。

また新篠津村の特産品はこれだけではない。新篠津村には新篠津村で作った米を用いた地酒や地ビール、葉物野菜がよく取れることから完全無添加のキムチがある。さらに新しのつで育った大豆を使用し、こうじは完全自家製手作りの無添加・天然醸造、製品にするまですべて手作りの田舎風味噌素材を活かした田舎風手作り味噌は新篠津村の自慢である。

表 2 新篠津の特産品

<p>大根</p>  <p>出所 新篠津村 HP</p>	<p>トマト</p>  <p>出所 新篠津村 HP</p>	<p>地酒</p>  <p>出所 新篠津村商工会 HP</p>
<p>地ビール</p>  <p>出所 新篠津村商工会 HP</p>	<p>キムチ</p>  <p>出所 新篠津村商工会 HP</p>	<p>田舎味噌</p>  <p>出所 新篠津村商工会 HP</p>

出所 新篠津商工会 HP を参考に筆者作成

## 2.4 泥炭地の開発

新篠津村は大規模な泥炭地の開発を行ったことで有名である。契機となったのは 1954 年（昭和 29 年）8 月に来日した世界銀行の農業調査団が石狩川流域を視察した事より始まる。当時の技術では泥炭地の土壌対策を克服できず、最終的に戦争などもあって建設途中で放置されていた。この為内水排除を行う為篠津運河の建設再開が実施された。篠津運河に泥炭地の水を排水する事が当初考えられていたが、農地面積拡大の為には用水路の建設も必要となる事から、篠津運河に用水路機能を追加する事になった。これに伴い篠津運河に石狩川の水を取水する事が考えられ、石狩川本川に石狩川頭首工が建設されここを起点に運

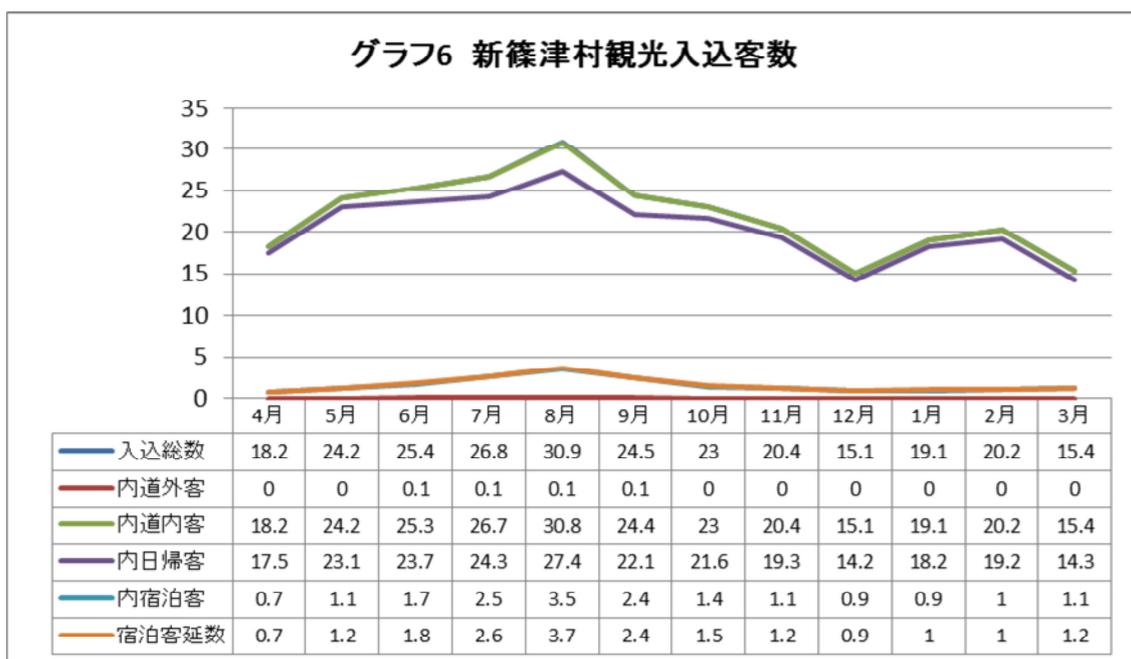
河が整備される事となった。また、用水補給を強化する為に支流の当別川最上流部に 1963 年（昭和 38 年）青山ダムが建設され、灌漑用水が篠津原野に補給される事となった。

運河の掘削は困難を極めたが次々と新しい土木技術や土木機械を投入し、揚水機場を設置して原野の隅々まで用水が行き渡るよう整備された。こうして『篠津地域泥炭地開発事業』は着手から 15 年の年月を費やし 1971 年（昭和 46 年）に完成した。農地として不適であった広大な泥炭地を農地に転換する事業は国内外でも例が無く、世界の農地改良事業におけるパイオニアとなった。こうして新篠津村は稲作が有名な村となった。

### 3. 観光

#### 3.1 新篠津村観光入り込み客数

新篠津村の観光入込客数は自然を多く楽しむことができる 7 月から 8 月にかけてが 1 年を通じて 1 番多くなっている。道内客や日帰り客は多く訪れるものの、道外客はほとんど訪れていない。その克服が今後の課題と言えるだろう。



出所 北海道庁「観光入込客数調査報告書」をもとに筆者作成

#### 3.2 新篠津村観光スポット

新篠津村は自然に囲まれているということもあり、観光も自然の要素が絡んでくる。以降は新篠津村の観光スポットについて紹介していく。

### 3.2.1 し の つ 公 園 キ ャ ンプ 場

し の つ 公 園 キ ャ ンプ 場 が あ る 。 新 篠 津 村 の 観 光 の 拠 点 で あ る し の つ 公 園 の 一 角 に あ る キ ャ ンプ 場 で キ ャ ンプ を 楽 し む こ と が で き る 。 ま た し の つ 公 園 は し の つ 湖 の 近 隣 に 位 置 し て お り 、 し の つ 湖 で は 冬 に ワ カ サ ギ 釣 り を す る こ と が で き る 。

ま た 、 し の つ 公 園 に は シ ン ボ ル と 言 っ て よ い 展 望 台 が あ る 。 上 ま で 登 る こ と が で き 、 見 晴 ら し が 良 く 、 付 近 が 一 望 で き ま す 。 さ ら に 夜 に は ラ イ ト ア ッ プ も 施 さ れ 一 層 存 在 感 を 出 し て い る 。

画 像 11 し の つ 公 園 キ ャ ンプ 場



出 所 ウ ォ ー カ ー プ ラ ス 北 海 道

画 像 12 し の つ 公 園 夜 の 展 望 台



出 所 b B と キ ャ ンプ と 北 海 道 H P

### 3.2.2 し ん し の つ 温 泉 た っ ぷ の 湯

新 篠 津 に は 温 泉 施 設 が 2 つ あ る 。 1 つ は し ん し の つ 温 泉 た っ ぷ の 湯 で あ る 。 1999 年 ( 平 成 9 年 ) に オ ー プ ン し た 宿 泊 研 修 施 設 で あ り 、 し の つ 湖 を 眺 め ら れ る 露 天 風 呂 や サ ウ ナ 、 打 た せ 湯 な ど が 人 気 で 、 バ ー ラ ウ ン ジ や カ ラ オ ケ ル ー ム と い っ た 娯 楽 施 設 も 充 実 し て い る 。

そ れ だ け で は な く こ の 温 泉 は ス ポ ー ツ 施 設 も 充 実 し て い る 。 そ れ は こ の 付 近 の 自 然 を 利 用 し た パ ー ク ゴ ル フ で あ っ た り 、 テ ニ ス コ ー ト で テ ニ ス を し た り 、 バ ス ケ ッ ト ゴ ー ル も あ る の で ス ト リ ー ト バ ス ケ で 汗 を 流 す の も よ い だ ろ う 。 そ し て そ の 後 に 温 泉 に つ か り 、 疲 れ を 癒 し 、 リ フ レ ッ シ ュ す る の も よ い だ ろ う 。 行 っ た 際 に は お ス ス メ の 施 設 ・ 設 備 で あ る 。

### 3.2.3 し ん し の つ 温 泉 ア イ リ ス

先 に も 述 べ た よ う に 新 篠 津 村 に は 有 名 な 村 が 2 つ あ り も う 一 つ が し ん し の つ 温 泉 ア イ リ ス で あ る 。 し の つ

画 像 13 し ん し の つ 温 泉 た っ ぷ の 湯



出 所 し ん し の つ 温 泉

画 像 14 し ん し の つ 温 泉 ア イ リ ス



出 所 ま っ ぷ る

湖畔に面し、しのつ公園内の自然に囲まれた日帰り温泉で、露天風呂からはしのつ湖を望むことができる。さらに、豊かな自然環境と豊富な湯量が自慢である。泉質はナトリウム塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、五十肩などに効果がある。大浴場にはジャグジー風呂をはじめ、うたせ湯やサウナルームを完備し、心身ともにくつろぐことができる温泉である。

新篠津村に寄った際には是非立ち寄りたスポットだ。

### 3.3 収穫体験

しんしのつ温泉タップの湯では農業の収穫体験を推し進めている。というのも、いま北海道ならではの低農薬・オーガニック野菜に大きな注目が集まっている。その中で新篠津村の農家さんの野菜畑へと出向き、収穫の喜びを農家の人たちと分かち合い食について学ぶことができるのである。また、収穫が体験できる野菜の種類も豊富である。春先のアスパラガス、夏場のトウモロコシ、枝豆、トマト、メロン、ピーマン、秋のジャガイモ、季節ごとの旬の野菜を自らの手で収穫できる。また、生産地ならではの、おいしい野菜の調理法なども伝授してくれるというものだ。

また、生産者のご協力により養鶏場の見学、花の栽培の見学、JA 新篠津全面協力による選果場見学、味噌作り体験なども体験できる。さらに、新篠津は米所であるのでお米の一口オーナー制度も行っている。

このように新篠津村の特色を活かしたイベントを催している。

#### \*参照 HP

ウォーカープラス北海道：<http://www.walkerplus.com/spot/ar0101s07764/>

気象庁 HP：<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

北の道ナビ HP：<http://northern-road.jp/navi/j/town/cs/008.htm>

札幌広域圏：[http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/kouiki\\_quiz/sinsinotu/sin\\_01.html](http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/kouiki_quiz/sinsinotu/sin_01.html)

しんしのつ温泉：<http://www.n43.net/onsen/shinshinotsu/tappunoyu/>

しんしのつ温泉アイリス HP：<http://www.shinshinotsu-iris.com/>

しんしのつ温泉たっぷの湯 HP：<http://www.tappunoyu.com/>

しんしのつ温泉たっぷの湯観光案内：

[http://www.tappunoyu.com/ond\\_a11/a\\_kankowu/Top.html](http://www.tappunoyu.com/ond_a11/a_kankowu/Top.html)

農林水産省「わがマチ・わがムラ」：<http://www.machimura.maff.go.jp/>

北海道庁「過去の国政調査結果」：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/001ppc/co.htm>

北海道庁「観光入込客数調査報告書」：

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/301-irikomi/irikomitop>

まっふる：<http://www.mapple.net/spots/G00101488102.htm>

bB とキャンプと北海道 HP：<http://www8.plala.or.jp/camp/index.html>

Wikipedia：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>